

HEART

株主のみなさまへ
第38期決算
(2009年4月1日～2010年3月31日)



ゼビオ株式会社



企業理念

公正な競争原理のもと、良質な人材、資金、組織を作り
〈お客様第一主義〉にもとづいた事業活動を通じて、
社会貢献を果たしていくこと

経営の基本方針

- 一、量的指標ではなく、質的指標としての数値目標を設定します
- 一、ナンバーワンではなく、オンリーワン企業として事業の質的
拡大を図ります
- 一、株主様、お客様、お取引先様、従業員、地域社会それぞれ
にオンリーワンとして認識していただける企業を目指します

企業理念	1
ごあいさつ	2
業績推移／中期的な展望	3
ゼビオグループの取り組み	5
人材育成、CSRへの取り組み	9
業績について	11
株式状況／会社概要	15
店舗一覧	17
株主メモ	22

CONTENTS

ごあいさつ

株主並びに投資家の皆様におかれましては、ますますご清栄
のこととお慶び申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は個人消費の低迷が
続きましたが、当社グループはサービスの質の向上により、競技ス
ポーツやトレッキング、アウトドア用品の販売が堅調に推移し、グ
ループシナジーの深耕、自社開発商品の拡大と相俟って、増収
増益を達成いたしました。

このような環境下、人々のレジャーや健康、美容などへの意識
はより一層高まっております。そこで当社グループは、すべての人
の身近にあるスポーツを軸にお客様のライフスタイルをより健康的
で豊かなものにするべく、『スポーツコングロマリット構想』を掲げ、
生活の様々なシーンに対する提案や問題の解決に尽力し、一生
涯を通じてサポートできる存在を目指しております。これからもス
ポーツ用品・用具の販売以外にも新規事業を開拓し、様々な業
種の組み合わせによりグループシナジーを創出し、多くのお客様
に質の高いサービスを提供することを通じて、お客様第一主義を
実践してまいります。

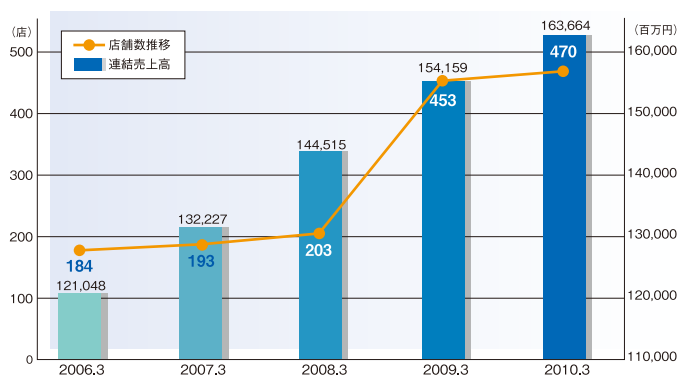
当社グループは、これからもスポーツ業界におけるオンリーワン
企業を目指し、質を伴った業容拡大を通じて、株主様をはじめと
するステークホルダーの方々のご期待に応えていく所存でござい
ます。

代表取締役社長 諸橋 友良

近年の当社業績推移について

当社は市場シェアの拡大、収益性の改善を目標に掲げ、スポーツ業界におけるオンリーワン企業として中期経営計画「X10プロジェクト」を推進してまいりました。2006年3月期までにスポーツ事業への選択と集中を行い、同中期経営計画期間においては積極的な出店やゼビオカード株式会社、ゼビオナビゲーターズネットワーク株式会社などの新会社の設立、さらには株式会社ゴルフパートナーや株式会社フェスティバルゴルフのグループ加入などのM&Aを実施し、スポーツ事業の更なる拡大を図ってまいりました。

ゼビオグループ店舗数推移と連結売上高



メンズ、メディア事業部の営業譲渡
ヴィクトリアのグループ化

X10プロジェクト開始(年間10店舗出店を宣言)
ゼビオカード設立

ゴルフパートナーのグループ化
フェスティバルゴルフの営業譲受

2010年3月末、新規出店の推進やM&Aの実施などによりグループとしての市場シェアの拡大については、当初目標にしていた水準に到達いたしました。同様に、当社グループの利益についても、景気後退の影響を受けた2009年3月期を除いて毎年拡大を続けてまいりました。今後も経済環境やスポーツ市場の変化などが予想されますが、グループとして、質を伴った業容拡大と収益構造の改善に努めてまいります。

売上規模の拡大

収益性の改善

質を伴った業容拡大

中期的な展望について

今期以降は更なる成長戦略を実現するために、当社グループは新たな中期的展望に沿って、スポーツ事業の経営効率改善とともに周辺領域における新規事業を開拓し、3年後の2013年3月期には売上高2000億円達成を目指します。

中期成長戦略

スポーツ事業の
経営効率改善

新規事業の
開拓

○スポーツ事業の経営効率改善

スポーツ事業については収益性と効率性を重視しながら、ゼビオ、ヴィクトリアを中心とした店舗の再配置、改装を含む、既存店舗の活性化を積極的に進めてまいります。

ゴルフ事業は中古クラブを含む「買取」から「販売」の流れをグループ内で循環させ、グループ複合型店舗の出店を推進し、新しい付加価値をお客様に提供することにより、収益体質の確立に努めてまいります。

また商品面では、適正在庫を保ちながら開発商品の構成比を拡大し、グループとして商品効率の改善に取り組んでまいります。

経営効率改善施策

- ゴルフ事業の収益改善(バリューチェーンの構築)
- 既存店舗の活性化(スクラップ&ビルド)
- 商品効率の改善

ゼビオグループの目指すべき未来

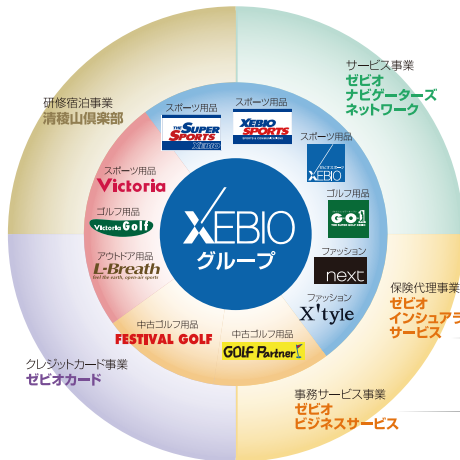
～スポーツコングロマリット構想～

コングロマリットとは、他業種との組み合わせにより構成される複合体の意味を持ち、当社グループにおいては小売業という枠に捉われず、スポーツを軸にお客様の生活を様々な側面から補完していくという考え方です。これからもこの構想の実現に向けて、グループ一丸となり諸施策に取り組んでまいります。

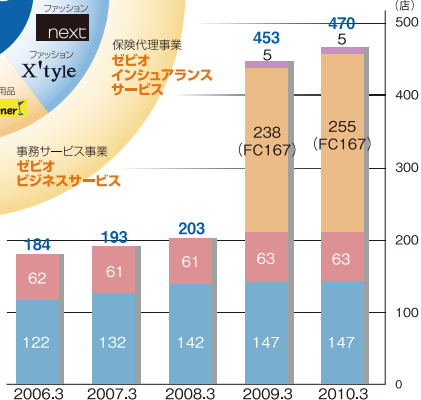
ゼビオグループブランドの確立

2010年3月末、ゼビオグループは合計13社となり、総店舗数は470店舗(FC店舗を含む)となりました。当連結会計年度においては、この規模を活かし、お客様に当社グループの店舗を選んでいただけるよう店舗、商品、人材のゼビオブランドの確立に取り組んでおります。

ゼビオグループ事業系統図



ゼビオグループ店舗数推移



○グループ複合型店舗の出店拡大

2009年度下期において、関東圏のスーパースポーツゼビオ内のゴルフ専門店「G・O・1」21店舗に対して、全国的に認知度の高いヴィクトリアゴルフへの業態変更を実施し、スーパースポーツゼビオとヴィクトリアゴルフのそれぞれの特徴を活かしたグループ複合型店舗の展開を拡大致しました。

さらに、これらの店舗やヴィクトリアゴルフ店舗内にゴルフパートナーの店舗をインショップとして出店し、1つの店内においてクラブの「買取」から「販売」までの流れを循環させ、お客様の利便性の向上を実現いたしました。



ヴィクトリアゴルフへの業態統合

ゴルフ事業の確立

現在、当社グループのゴルフ事業には、スーパースポーツゼビオ内に展開するG・O・1、首都圏を中心に展開するヴィクトリアゴルフ、中古クラブを取り扱うゴルフパートナー、フェスティバルゴルフの4業態が存在しています。これらの力を集結し、当社グループは「ゴルフNo.1宣言」を提唱し、実行しております。

2009年度、当社グループはこれらの業態を組み合わせ、ゴルフクラブの循環型システムの構築に努めてまいりました。グループ内店舗においてクラブを販売する際に、お客様から下取りしたクラブについてゴルフパートナーを通じて中古販売することにより、ゴルフ事業における価格面と品揃え面の充実を図ってまいりました。

今後もグループ全体のネットワークを活用し、お客様に対する新しいサービスの提供、市場全体の活性化を図ってまいります。



○グループ店舗網を活かしたプロモーション戦略

2009年度、当社グループのゴルフ用品取り扱い店舗数は425店舗となり、国内No.1の店舗ネットワークを形成いたしました。今後当社グループは、店舗数のみならず品揃え、サービスについてもNo.1を目指してまいります。また、2009年度はこの店舗網を活かして、グループとして統一したプロモーションを実施してまいりました。

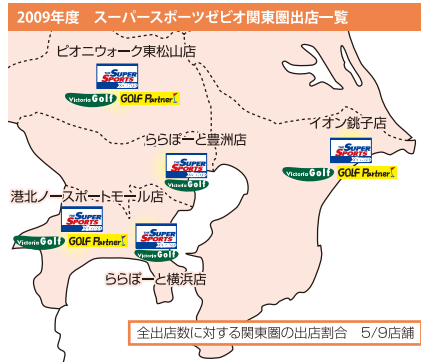
グループ各店舗内に設置されているゴルフシミュレーターと連動した「GoGoGOLF!クラブ」を立ち上げました。また、メディアを通じてのプロモーションも実施し、当社ゴルフ事業の認知度の向上およびブランドの確立を推進しております。



関東圏のシェア拡大に向けた出店

2009年度、当社は積極的な出店を続け、なかでも市場規模が大きく、今後の当社シェアの拡大が見込める関東圏において店舗数を増やしてまいりました。同地域では、ヴィクトリアゴルフへの業態統合、ゴルフパートナーのインショップ出店に加え、スーパースポーツゼビオ5店舗を新規出店しており、現在人口が増加傾向にある横浜地区には同時に2店舗を出店し、ドミナント化を推進しております。

今後も当社シェアの拡大余地のある地域については、積極的に出店を進め、新しいお客様にご来店頂き、満足してお買物していただけるような店舗作りをまい進してまいります。



○横浜地区への出店

当社は2009年10月、横浜地区に「スーパースポーツゼビオららぽーと横浜店」及び「スーパースポーツゼビオ港北ノーススポーツモール店」を出店し、同地区におけるスーパースポーツゼビオ業態は合計3店舗となりました。

それぞれの店舗においてグループの認知度向上を図るとともに、地域動向を吸い上げた商品構成を構築し、同地区における市場シェアNo.1を目指してまいります。両店舗ともにヴィクトリアゴルフを併設し、港北ノーススポーツモール店では、来店されたお客様に楽しんでいただけるようアウトドア体験型設備も充実させております。



開発商品の販売拡大

近年、各業界における低価格競争は一層激化しております。当社はこれらの市場動向の変化に機敏に対応し、上期の吸汗速乾素材に引き続き、下期も高機能素材を用いた開発商品を市場のニーズに沿った価格帯で展開いたしました。また従来のゼビオの店舗だけでなく、ヴィクトリアの店舗における販売を拡大したことにより、首都圏のお客様からもご好評を頂きました。

これからも多くのお客様に支持していただけるよう、付加価値の高い商品開発とグループ内での販路拡大を進め、1人でも多くのお客様に満足していただける商品を提供できるよう努めてまいります。

○ 高機能素材を用いた商品開発

《HEAT-X(ヒートクロス)》



肌触りがよく、体から発する水分を吸って発熱する吸湿発熱機能素材を用いたアパレル商品群。今期はインナーや日用品だけでなく、体温を失いやすい部位に吸湿発熱素材を用いる『Body arrange(ボディアレンジ)』技術を採用したコンプレッションウェアも展開し、首都圏のヴィクトリアの店舗においても販売いたしました。



吸湿発熱素材裏地

カラーバリエーション豊富なインナー

ボディアレンジを採用した
コンプレッションウェア

《WIND BARRIER(ウィンドバリアー)》

防風ジャージ ニット素材でありながら防風機能を持ち合わせた素材を使用し、気温が低下しても運動しやすい、動きやすいジャージの販売を拡大してまいりました。



お客様、地域社会とともに

当社グループはスポーツに携わるすべてのお客様に満足してご購入していただけるよう、スポーツナビゲーターを通じてお客様満足度の向上に努めております。

○スポーツナビゲーターの育成

現在、当社ゴルフ部門においてメーカーと協力し、店舗人員の人材育成プログラムを立ち上げ、商品知識および接客力の向上に取り組んでおります。このプログラムにおいては、中長期的な視点からそれぞれの習得レベルに合わせたカリキュラムを設定し、お客様に適した道具選びをサポートすることを目標としております。

また、お客様がご来店された際に、ゼビオをより身近に感じていただけるよう「笑顔・挨拶の徹底」をテーマとしたキャンペーンを実施し、サービスレベルの向上を図っております。



○スポーツをする環境の整備

2010年2月、新潟県にて開催されました国内最大級のスノーボード大会「THE SLOPE」に協賛し、ゼビオナビゲーターズネットワーク株式会社の社員が大会運営に協力いたしました。本大会ではプロ選手だけでなく一般公募からの選手も大会に参加し、めったに見ることのできないプロの滑りを肌で感じるとともに、日頃の練習の成果を発揮し、会場を沸かせておりました。

今後もこのようなスポーツをする環境を提供することにより、競技人口の拡大及び地域スポーツの活性化に貢献してまいります。



○地域に密着したイベント

2009年11月、埼玉県越谷市にてヴィクトリアなどが主催する「第1回越谷レイクタウンランニング」を開催いたしました。当日はあいにくの空模様となりましたが、ジュニアからベテランまで500人を超すランナーが参加し、健脚を競い合いました。2.5kmの湖畔を1周するファミリーの部には41ペア(82名)が参加し、ランニングを通して親子の絆を深め、貴重な思い出を作りました。

当社グループはこれからも地域社会に密着したイベントを通じて、スポーツをすることの喜び、感動を伝え、次世代の育成に努めてまいります。



○スポーツ支援活動

当社は社会貢献活動の一つとして、1999年度より店舗において、障がい者スポーツの支援、認知向上などを目的に様々な活動に取り組んでいる(財)日本障害者スポーツ協会の募金箱を設置しております。スタッフをはじめ来店していただいたお客様に寄付を呼び掛けており、2009年度までに合計約880万円を贈呈いたしました。また、知的発達障がいのある方々へ、オリンピック競技種目に準じた様々なスポーツトレーニングと競技の場を提供しているNPO法人スペシャルオリンピックス日本・福島にも支援させていただいております。

今後もスポーツをするすべての人々をサポートし、スポーツを通じて感動を与えられるよう支援活動の輪を広げてまいります。



■業績全般の状況について

当連結会計年度におけるわが国経済は、引き続き生活防衛意識の高まりから依然として景気の停滞局面を抜け出せず、スポーツ業界においてもトレッキングやランニングなどへの参加人口は堅調に推移しているものの、低価格競争は更に激化しております。

このような環境下、当社グループにおいては高機能性を打ち出した自社開発商品の販売が堅調に推移いたしました。また、参加人口の増加したトレッキング、キャンプ用品などのアウトドア用品については、目的別にきめ細やかな提案をすることにより客単価も上昇し、競技スポーツの人気も底固く、提案型の売場作りと接客力の向上施策と相俟って、堅調に推移致しました。ゴルフ事業においても、中古クラブの循環型システムを確立し、グループ内店舗にゴルフパートナーのインショップ店舗を展開する複合型出店を進めております。

この結果、連結業績は売上高163,664百万円、営業利益10,943百万円、経常利益12,048百万円、当期純利益6,355百万円の増収増益となりました。

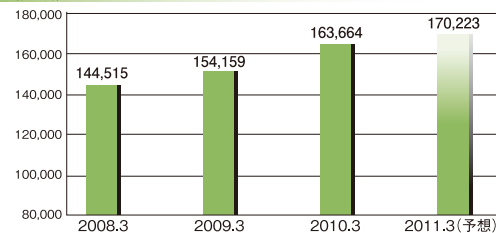
(単位:百万円)

連結損益計算書

	当期	前期
	自2009年4月1日 至2010年3月31日	自2008年4月1日 至2009年3月31日
売上高	163,664	154,159
売上原価	101,462	94,546
売上総利益	62,202	59,613
販売費及び一般管理費	51,258	48,839
営業利益	10,943	10,774
営業外収益	2,040	2,137
営業外費用	935	931
経常利益	12,048	11,979
特別利益	55	57
特別損失	1,822	2,856
税金等調整前当期純利益	10,282	9,180
法人税、住民税及び事業税	4,041	3,679
法人税等調整額	△114	△604
当期純利益	6,355	6,105

売上高

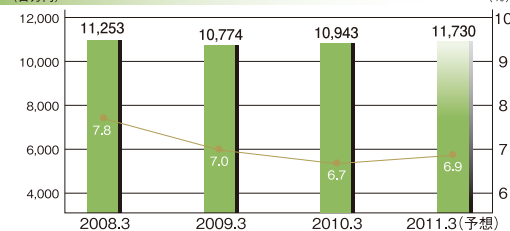
(百万円)



営業利益 (同率)

(百万円)

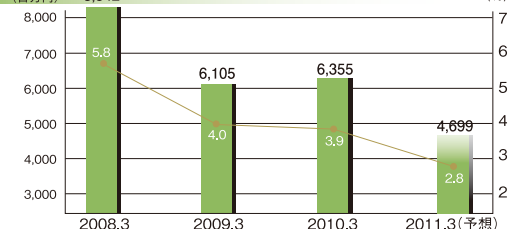
(%)



当期純利益 (同率)

(百万円)

(%)



■次期の見通し

2010年度も国内の景況感は引き続き慎重な動きが予想されますが、当社は経営効率改善のため戦略的な出退店と既存店の積極的な改装をグループとして推進してまいります。また、自社開発商品の品質向上と販売強化を推進し、収益性と商品効率を改善してまいります。当期純利益については、会計基準の変更に伴う特別損失を見込んでおります。

(単位:百万円)

連 結	売上高	営業利益	当期純利益
2010年3月期実績	163,664	10,943	6,355
2011年3月期予想	170,223	11,730	4,699
増減率	4.0%	7.2%	▲26.1%

個 別	売上高	営業利益	当期純利益
2010年3月期実績	117,262	8,685	4,026
2011年3月期予想	120,769	9,125	3,448
増減率	3.0%	5.1%	▲14.4%

■連結財政状態について

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末に比べ9,629百万円増加し、148,293百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の7,076百万円の増加などにより、前連結会計年度末に比べ11,616百万円増加した結果、78,989百万円となりました。固定資産は、1,986百万円減少し、69,303百万円となりました。負債については、支払手形及び買掛金やリース債務の増加などにより、前連結会計年度末に比べ4,356百万円増加し、54,225百万円となりました。

当連結会計年度末の純資産は、利益剰余金の5,007百万円の増加などにより94,067百万円となりました。

(単位:百万円)

連結貸借対照表

		当期 (2010年3月31日現在)	前期 (2009年3月31日現在)
資産の部	流動資産	78,989	67,373
	有形固定資産	34,994	34,990
	無形固定資産	8,156	7,694
	投資その他の資産	26,152	28,605
	固定資産	69,303	71,290
	資産合計	148,293	138,663
負債の部	流動負債	49,074	45,942
	固定負債	5,151	3,925
	負債合計	54,225	49,868
純資産の部	資本金	15,935	15,935
	資本剰余金	16,096	16,110
	利益剰余金	67,137	62,129
	自己株式	△5,161	△5,493
	株主資本合計	94,008	88,682
	評価・換算差額等	59	54
	少数株主持分	0	57
	純資産合計	94,067	88,795
	負債・純資産合計	148,293	138,663

■連結キャッシュ・フロー計算書について

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が10,282百万円の収入、たな卸資産が324百万円減少したこと、仕入債務が1,575百万円増加したことなどにより、前連結会計年度に比べ、9,751百万円増加し、12,476百万円の収入となりました。また、新規店舗出店に伴う有形固定資産の取得による支出の減少などにより、投資活動によるキャッシュ・フローは前連結会計年度に比べ、15,060百万円支出が減少し、600百万円の支出となりました。

以上の結果より、当連結会計年度末における現金及び現金同等物は22,272百万円となりました。

(単位:百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書

	当期 自2009年4月1日 至2010年3月31日	前期 自2008年4月1日 至2009年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,476	2,724
投資活動によるキャッシュ・フロー	△600	△15,661
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,798	△2,761
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	—
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	9,076	△15,697
現金及び現金同等物の期首残高	13,195	28,880
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増減額	—	12
現金及び現金同等物の期末残高	22,272	13,195

■配当の状況

	1株あたりの配当金		
	第2四半期末	期末	年間
2009年3月期	15円00銭	15円00銭	30円00銭
2010年3月期	15円00銭	15円00銭	30円00銭
2011年3月期(予想)	15円00銭	15円00銭	30円00銭

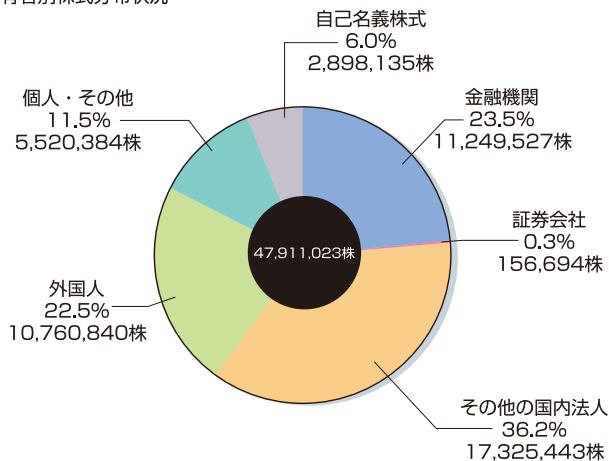
株式状況

- 発行可能株式総数…………… 135,000,000株
- 発行済株式総数…………… 47,911,023株
- 株主総数…………… 4,758名
- 単元株主数…………… 4,428名
- 大株主（2010年3月31日現在）

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
有限会社 サンビック	8,252,605	17.22
財団法人 諸橋近代美術館	4,500,000	9.39
有限会社 ティー・ティー・シー	4,121,466	8.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,423,050	5.06
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,037,000	4.25
諸橋輝子	1,392,364	2.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,269,700	2.65
諸橋友良	1,172,750	2.44
野村信託銀行株式会社(投信口)	917,400	1.91
諸橋寛子	900,897	1.88

- (注1) 上記信託銀行の持株数のうちには信託業務に係るものが含まれております。
 (注2) 当社は自己株式2,898,135株を保有しておりますが、議決権がないため、上記の大株主から除外しております。
 (注3) 当社の大株主への出資はありません。

■所有者別株式分布状況



会社概要及び役員

- 商号 ゼビオ株式会社
 (XEBIO CO.,LTD.)
 本社所在地 〒963-8024 福島県郡山市朝日三丁目7番35号
 電話024-938-1111(代表)
 ホームページアドレス <http://www1.xebio.co.jp/>
 創業 昭和37年8月
 会社設立 昭和48年7月5日
 事業内容 スポーツ用品・用具、紳士、婦人、子供服の販売
 従業員数 866名(2010年3月現在)
 ※従業員数には、パートタイマーおよびアルバイト3,421名(1日実働8時間換算)は含んでおりません
 ※連結会社における従業員数は1,496名(2010年3月現在)
 店舗 147店舗(2010年3月31日現在)
 北海道14店舗 群馬県 1店舗 福井県 1店舗 広島県 3店舗
 青森県 4店舗 埼玉県 4店舗 静岡県 2店舗 香川県 1店舗
 岩手県 5店舗 千葉県 11店舗 愛知県 5店舗 愛媛県 1店舗
 宮城県 9店舗 東京都 8店舗 三重県 1店舗 福岡県 7店舗
 秋田県 3店舗 神奈川県8店舗 滋賀県 1店舗 佐賀県 1店舗
 山形県 4店舗 新潟県 8店舗 京都府 2店舗 熊本県 3店舗
 福島県10店舗 長野県 5店舗 大阪府 3店舗 大分県 1店舗
 茨城県 5店舗 富山県 2店舗 兵庫県 4店舗 宮崎県 1店舗
 栃木県 5店舗 石川県 2店舗 奈良県 1店舗 鹿児島県1店舗
 ※連結会社における店舗数は303店舗(2010年3月31日現在)

■取締役及び監査役

役職	氏名
代表取締役社長	諸橋友良
取締役	北沢 猛
取締役	大滝 秀雄
取締役*	谷代 正毅
取締役*	石綿 学

2010年6月29日現在

役職	氏名
常勤監査役	大和田 美明
常勤監査役	吉田 好一
監査役●	小谷 野幹雄
監査役●	佐々木 庸雄

*は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
 ●は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

■執行役員

担当	氏名
常務執行役員	大山 雄彦
常務執行役員	大島 康夫
常務執行役員	石塚 晃一
常務執行役員	中村 和彦
常務執行役員	荒木 裕一郎
常務執行役員	石田 純哉
執行役員	高橋 保

担当	氏名
執行役員	木原 正剛
執行役員	加藤 正秀
執行役員	高橋 徹哉
執行役員	江川 正規
執行役員	本多 浩行
執行役員	紫関 修
執行役員	中村 考昭

ゼビオグループ店舗一覧 (2010年3月31日現在)

(注) ■は第38期の出店であります。

Victoria

ヴィクトリア

- 【茨城県】
水戸店 029-241-9231
- 【東京都】
本店 03-3295-2955
Wardrobe 03-3233-1861
新宿店 03-3354-8311
三鷹店 0422-72-8581
東大和店 042-566-1511
蒲田店 03-5711-1821
加平インター店 03-5697-3900
めじろ台店 042-667-3291
羽村店 042-554-0511
光が丘店 03-5998-2001
Vient 03-3219-2801
■イオンモールむさし村山店 042-590-1041

- 【神奈川県】
湘南台店 0466-42-4493
オーラモール東戸塚店 045-828-2425
港北ニュータウン店 045-941-7733
横須賀店 046-834-2778
秦野店 0463-83-0221
藤沢川名店 0466-55-2970
川崎野川店 044-752-3311

- 【千葉県】
おゆみ野店 043-226-9901

- 【埼玉県】
大宮店 048-622-1731
所沢店 04-2998-4649
スポーツモール越谷イオンレイクタウン店 048-990-3391

- 【宮崎県】
宮崎店 0985-22-1741

Victoria Golf

ヴィクトリアゴルフ

- 【福島県】
ゴルフいわき店 0246-58-6107
- 【茨城県】
ゴルフひたちなか店 029-273-5661
ゴルフ茨城鹿嶋店 0299-83-8731

- 【東京都】
ゴルフ新宿店 03-3352-5281
ゴルフ神田店 03-3219-2781
ゴルフ銀座店 03-3569-2750
ゴルフ五反田店 03-5435-8790
ゴルフ青山店 03-5414-1460
ゴルフ世田谷店 03-5316-7190
ゴルフ江戸川店 03-5674-8751
ゴルフ碑文谷店 03-5704-7170
ゴルフ練馬関町店 03-5927-6160
ゴルフアークスタイル自由が丘 03-5731-5381
ゴルフ三鷹野崎店 0422-30-7181
ゴルフ聖蹟桜ヶ丘店 042-357-0027

- 【神奈川県】
ゴルフ港南台店 045-833-3500
ゴルフ港北ニュータウン店 045-949-2671
ゴルフたまプラーザ店 045-909-5770
ゴルフ横須賀店 046-837-7691
ゴルフヴィスガ横須賀店 046-820-6621
ゴルフフレッサ横浜店 045-533-5051
■ゴルフ港北ノースポートモール店 045-910-0534
■ゴルフららぽーと横浜店 045-929-3279

- 【千葉県】
ゴルフ市川インター店 047-376-3621
ゴルフ松戸八柱店 047-389-8971
ゴルフ南流山店 04-7150-3781

- 【埼玉県】
ゴルフ深谷店 048-574-0621
■ゴルフ栗山バイオパーク店 0493-31-0095

- 【静岡県】
ゴルフ富士店 0545-62-8811

- 【大阪府】
ゴルフ茨木店 072-643-9611

- 【島根県】
ゴルフ松江国引通り店 0852-26-7811

- 【福岡県】
ゴルフ小倉店 093-473-4901
■ゴルフ姪浜店 092-892-1851

- 【佐賀県】
ゴルフ佐賀店 0952-30-7971

- 【大分県】
ゴルフ大分店 097-556-8101

GOLF Partner

ゴルフパートナー

- 【茨城県】
石岡店 0299-22-3362
R6取手店 0297-70-6481
谷和原インター店 0297-57-6591
水戸練習場店 029-244-2211

- 【栃木県】
佐野茂呂山店 0283-27-0581

- 【群馬県】
■館林練習場店 0276-82-3333

- 【埼玉県】
蓮田店 048-765-2261
川越街道三芳店 049-274-5320
南浦和店 048-872-8980
日高練習場店 042-985-8588

- 【千葉県】
R296中野木店 047-403-7680
ロッタウタウン野田店 04-7128-1711
柏南増尾店 04-7178-1261
R16木更津店 0438-30-6870
市原白金通り店 0436-20-8801
おゆみ野店 043-293-6681
中山競馬場前店 047-302-3681
新松戸店 047-374-6680
R16柏店 04-7160-3631
■千葉練習場店 043-295-1200

- 【東京都】
宝町昭和通り店 03-3538-7363
青梅街道柳沢店 0424-51-8555
山手通り目黒店 03-5773-1356
新大橋通り船場店 03-5659-3541
赤坂六本木通り店 03-3560-2431
文京音羽店 03-5940-3290
環八尾山台店 03-5752-4650
小金井街道東久留米店 042-479-1511
多摩ニュータウン通り店 042-401-4800
大島店 03-5628-1515
甲州街道上北沢店 03-3303-8107
八王子めじろ台店 042-669-4698
八王子高倉店 042-660-1556
高島平店 03-5922-6951
多摩練習場店 042-737-3617
■世田谷通り店 03-5727-2251

- 【神奈川県】
長後街道戸塚店 045-869-6202
大和鶴間店 046-200-5506
海老名下今泉店 046-236-1171
R16相模原店 042-701-9361
東名川崎インター店 044-978-2706

- 【愛知県】
イオンタウン弥富店 0567-66-0022
R1岡崎店 0564-65-3331
日進香久山店 052-846-0020

- 【三重県】
四日市店 059-359-5227

- 【大阪府】
171箕面店 072-749-1115
なにわ筋長堀店 06-6543-7201
R26第二阪和堺店 072-267-5157
豊中服部店 06-6867-0216
171茨木店 072-640-3150
東住吉湯里店 06-6769-5688
大阪外環河内長野店 0721-50-0511
美原ロータリー羽曳野店 0729-31-5235
第二阪和泉佐野店 0724-58-2707
本町店 06-4964-7222
外環寝屋川店 072-811-5626

- 【兵庫県】
川西久代店 072-756-7760
姫路砥堀店 079-265-3900

- 【奈良県】
香芝インター店 0745-71-5251
R24奈良店 0742-30-3680

- 【岡山県】
■岡山練習場店 086-946-2770

- 【広島県】
広島竹屋店 082-504-7075

- 【福岡県】
博多駅前店 092-437-5740
久留米榊原店 0942-36-8270
福岡福重店 092-892-3411
小倉練習場店 093-474-3111

- 【熊本県】
熊本東バイパス店 096-213-0510
熊本浜線バイパス店 096-377-5060

ほかゼビオインショップ店
4店舗

ほか
ヴィクトリアインショップ店
16店舗

ほかFC店167店舗

L-Breath

feel the earth, open-air sports

エルブレス

- 【東京都】
L-Breath新宿店 03-3354-8951
L-Breath御茶ノ水店 03-3233-3555
L-Breath池袋西口店 03-5985-0831

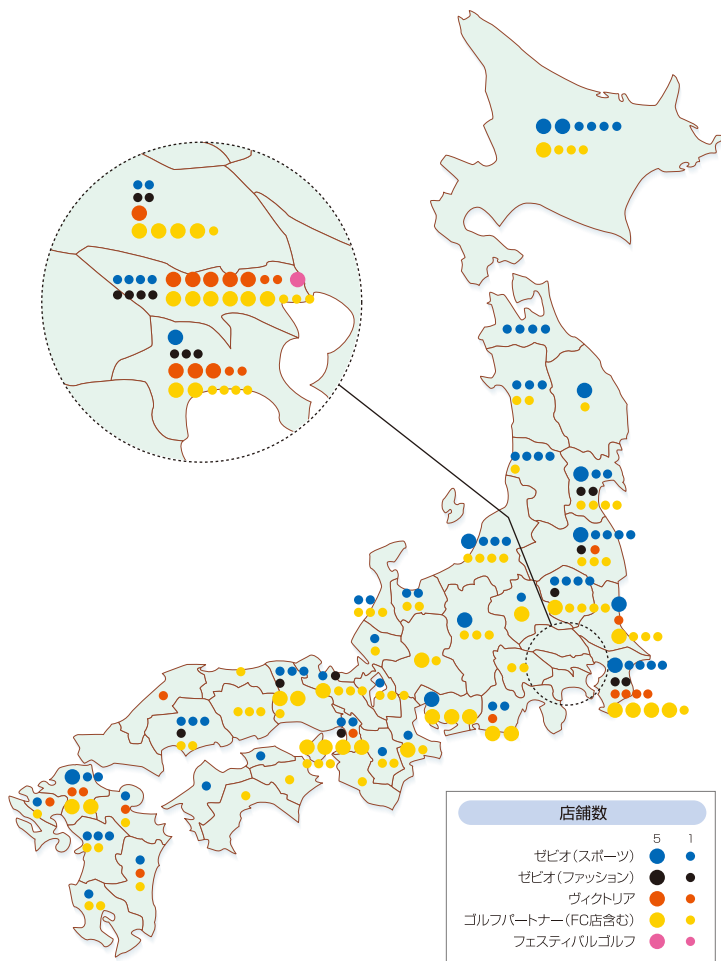
- 【神奈川県】
L-Breath横浜ワールドポーターズ店 045-222-2621
- L-Breath
トレッサ横浜店 045-533-5171

FESTIVAL GOLF

フェスティバルゴルフ

- 上野本店 03-6826-7100
上野APEX店 03-5812-0335
新宿1号店 03-5339-0270

- 新宿WING店 03-5909-2241
五反田TOC店 03-5759-0105



■エリア別店舗数

	ZeBio	ZeBio	ZeBio	ZeBio	X'tyle	Victoria	Victoria	L-Breath	GOLF Partner	FESTIVAL GOLF
北海道	13	1								8
東北	26	4	2	3			1			11
北信越	16	2								13
関東	28		2	11	1	24	25	5	113	5
中部	8						1		37	
近畿	8			3			1		48	
中国	3						1		6	
四国	2								2	
九州	14					1	4		17	
合計	118	7	4	17	1	25	33	5	255	5

事業年度 毎年4月1日から翌年3月末日まで

剰余金の配当の基準日 期末配当金 毎年3月末日
中間配当金 毎年9月末日

定時株主総会 毎年6月開催

公告方法 電子公告 (<http://www1.xebio.co.jp/>)
ただし、電子公告によることができないときは、
日本経済新聞に掲載する方法とします。

株主名簿管理人 東京証券代行株式会社
東京都千代田区大手町2丁目6番2号(日本ビル4階)

郵便物送付先 (連絡先) 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
東京証券代行株式会社 事務センター
☎ 0120-49-7009
取次事務は、中央三井信託銀行株式会社の本店
および全国各支店で行っております。

●住所変更・単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

●未支払配当金のお支払について

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

●「配当金計算書」について

配当金を銀行等口座振込(株式数比例配分方式を除きます。)または配当金領収証にてお受取りの場合、お支払の際ご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、株式数比例配分方式をご選択されている株主様におかれましては、お取引の証券会社等にご確認ください。

IRカレンダー (予定)

7月下旬	2011年3月期 第1四半期決算発表
11月上旬	2011年3月期 第2四半期決算発表
//	2011年3月期 中間決算説明会
12月上旬	第39期中間事業報告書 発行
//	株主優待券 送付
1月下旬	2011年3月期 第3四半期決算発表

株主様御優待

当社では、株主の皆様へ感謝の微意を表す意味で毎年9月30日及び3月31日現在の100株以上保有の株主の皆様を対象に「株主特別御優待券」を贈呈させていただいております。この「株主特別御優待券」は、当社各店でご利用の場合、お買物額の10%を割引させていただくものです。「株主特別御優待券」は、下記のゼビオグループ各店舗でお使いいただけます。

お買物額

10% 割引

お近くの店舗で、是非ご利用下さい。



XEBIO DOME
We are Sports Navigators!

ゼビオドーム



スーパースポーツゼビオ



ゼビオスポーツ



G-O-1 (ジーオーワン)



ネクスト

X'tyle

エクスタイル

Victoria
ヴィクトリア

Victoria Golf
ヴィクトリアゴルフ

L-Breath
feel the earth, open-air sports
エルブレス

GOLF Partner
ゴルフパートナー

FESTIVAL GOLF
フェスティバルゴルフ

清稜山倶楽部

※当券は盗難・紛失・返品等の場合にも、再発行はいたしませんのでご了承下さい。

XEBIO
ゼビオ株式会社
XEBIO CO.,LTD.

本社/福島県郡山市朝日3-7-35
TEL.024-938-1111(代表)

<http://www1.xebio.co.jp/>

環境に配慮した「大豆油インキ」
を使用しています。